

対象機器：家庭用冷蔵庫、冷蔵ショーケース、アイスクリーム機器、製氷機、電動圧縮機、業務用冷凍冷蔵機器など

## ■背景及び課題

- ・日本の先行的技術である間接冷却技術、インバータなどを搭載した冷蔵庫の安全性が、適切に評価される必要がある。
- ・安全性確保と既存設計の関係。

## ■活動方針

1. 地球環境保護の観点から新冷媒の採用が加速。  
新冷媒での安全性を確保する。
2. 間接冷却式の冷蔵庫を考慮した安全性規定の採用を促す。

## ■成果

1. デリー会議で賛同を得た庫内の電気品保護(安全性確認)に資する水こぼし試験は、採用されIEC規格(2017)として発行された。
2. フリースペース(子供が入り込むと想定できる空間)の確認治具の追加提案を行い、おおむね採用の方向となった。



◆ 電気冷凍・冷蔵庫の一例(東芝殿Webより)

## ■今後の予定

1. 日本が得意とする技術(インバータ圧縮機、間接冷却式冷蔵庫)を規格に反映させる。
2. フリースペースの確認治具については、発行となるまで、諸対応を行っていく。